

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：製造業（食品缶詰等製造）

企業名：天狗缶詰株式会社（愛知県名古屋市）

【従業員数：285名】

クラウドで多種多品の商品・原材料データベースを一括管理し食の安心・安全を確保

1 経営課題

・食の安心・安全に求められる製品・品質情報の登録・更新を見直し、手間のなく活用できる情報管理体制を構築する。

2 クラウド実践による課題解決

・1,000種ほどある製品の商品規格書をエクセルで作成していたため、当時は改訂の管理が十分にできておらず、古い情報を顧客に提示することがあった。

・食の安心・安全、衛生管理が厳しくなっており、取引先への書類が複雑化し管理する情報が増加したことから、クラウドを活用して製品情報の整理を行い、短時間で必要な情報の提供が可能となった。

・また、製品情報の管理を行うにあたり、複数の製品に使用する原材料の情報を短時間で修正することが可能となった。

3 導入したクラウドサービス（導入期間：13年）

・株式会社インフォマート BtoB プラットフォーム規格書（メーカー）

4 課題解決に向けた組織運営

・品質管理の担当部署によるクラウドサービスを活用する。

5 実践事例の成果

・情報管理の体制は100%までには届いていないが、達成に向けて推進している。

・2019年は、クラウドによる製品・品質情報のデータ化は約70%で、残りの30%がエクセル管理している。

・日本食品標準成分表2015年版（七訂）データの自動入力が可能になったことにより、規格書の作成時に簡単なクリック操作で標準成分値が一括入力できるので、本に載っている熱量や食塩相当量などの数値をひとつずつ転記する作業が無くなった。

・食品表示法の改正に伴う規格書も更新作業では、時間にするるとこの作業だけでも導入前と比べて、年間約200時間の削減に相当する。情報管理の効率化でできた時間は、品質管理の業務に充てることが可能となった。